

**JBL**  
by HARMAN  
**BAR STUDIO**  
**取扱説明書**

**安全上のご注意**

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

- 警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
  - 禁止してはいけないことを示す記号です。
  - 分解してはいけないことを示す記号です。
  - 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
  - 触れてはいけないことを示す記号です。
  - 水がかかるところで使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
  - 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
  - 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

**警告**

- ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
- 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
- 付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
- 船舶などの直流 (DC) 電源には接続しない。火災の原因になります。
- 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- テールタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- 雷が降りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
- 水汲させない。故障の原因になります。
- 本機の内部に水などが入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- 調理台や加湿器の近くなど油煙や潮気がある場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。
- 直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に影響が生じ、火災の原因になることがあります。
- オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用し接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

**注意**

- 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- 長期間本機を使用しないときは、AC アダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- AC アダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
- AC アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。AC アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- ほこりや湿気が多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。
- 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
- 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 薬物厳禁  
ペンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

**Bluetooth® に関するご注意**

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなる場合があります。

- ・2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ・ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- ・テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

**注意**

- ・本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- ・弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

**安全にお使いいただくために**

- ・高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ・航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

**ご注意ください電子機器の例**

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

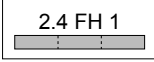
**電波法に基づく認証について**

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・本機を分解/改造すること。
- ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

**周波数について**

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。



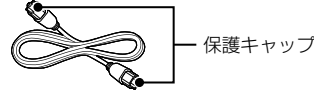
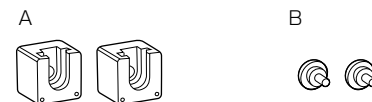
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

**付属品**

お使いになる前に、サウンドバー本体のほか、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- リモコン
- リモコン用電池（リモコンに取り付け済み）
- AC アダプタ
- 電源ケーブル
- 光デジタルケーブル
- ねじ穴位置決め台紙
- 壁掛けブラケット A / 壁掛けブラケット B
- 日本語取扱説明書（本紙）
- 多言語取扱説明書
- 保証書（日本国内用）

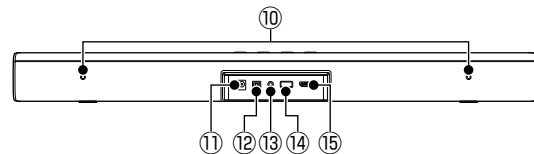
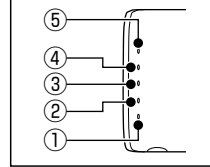
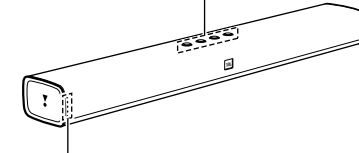
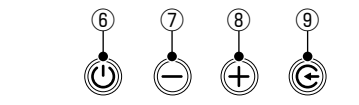


- 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブル



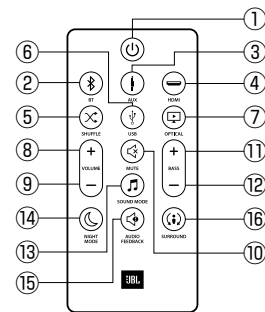
**各部の名称**

**▶ サウンドバー**



- 1 LED インジケーター 1
- 2 LED インジケーター 2
- 3 LED インジケーター 3
- 4 LED インジケーター 4
- 5 LED インジケーター 5
- 6 電源ボタン (I)
- 7 音量-ボタン
- 8 音量+ボタン
- 9 入力切り替えボタン (C)
- 10 壁掛けブラケット B 用ねじ穴
- 11 POWER (電源) 端子
- 12 OPTICAL-IN (光デジタル入力) 端子
- 13 AUX-IN (オーディオ入力) 端子
- 14 USB 端子
- 15 HDMI 端子

**▶ リモコン**



- 1 電源ボタン (I)
- 2 BT (Bluetooth) ボタン (B)
- 3 AUX (外部オーディオ) ボタン (A)
- 4 HDMI ボタン (H)
- 5 SHUFFLE (シャッフル) ボタン (X)
- 6 USB ボタン (U)
- 7 OPTICAL (光デジタル) ボタン (O)
- 8 VOLUME (音量) + ボタン
- 9 VOLUME (音量) 音量-ボタン
- 10 MUTE (ミュート) ボタン (M)
- 11 BASS (低音) + ボタン
- 12 BASS (低音) - ボタン
- 13 SOUND MODE (サウンドモード) ボタン (S)
- 14 NIGHT MODE (夜間モード) ボタン (N)
- 15 AUDIO FEEDBACK (オーディオフィードバック) ボタン (F)
- 16 SURROUND (サラウンド) ボタン (R)



Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。

Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。

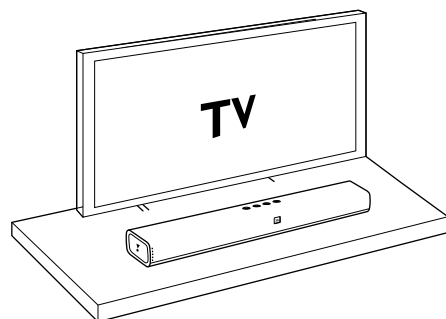
JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

## 設置する

サウンドバーは、卓上に設置するか、壁に取り付けてお使いいただけます。

### ▶ 卓上に設置する

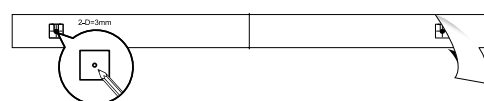
テレビの前など、音声を聴きやすい場所に設置します。



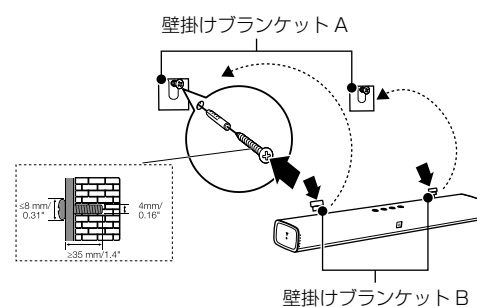
### ▶ 壁に取り付ける

付属の壁掛けブラケットを使用して、サウンドバーを壁に取り付けます。

- ① サウンドバーを取り付ける位置に付属のねじ穴位置決め台紙をセロハンテープなどで貼り付ける。
- ② 台紙のねじ穴位置を通してボールペンなどで壁にマークを付ける。



- ③ 壁掛けブラケット A を市販のねじ（直径 4mm、長さ 35mm 以上、ねじ頭直径 8mm 以下）を使ってマークした位置に取り付ける。
- ④ 壁掛けブラケット B をサウンドバーの壁掛けブラケット B 用ねじ穴にしっかり取り付け、壁掛けブラケット B を壁掛けブラケット A にフックするようにして壁に取り付ける。



## 接続する

サウンドバーで、以下の音源の音声を聴くことができます。

- テレビの音声
  - 3.5mm ステレオミニジャックを持つオーディオ機器やスマートホンなど
  - USB メモリーなどの音源
  - Bluetooth 対応デバイス
- それぞれ、以下のように接続します。  
(Bluetooth 対応デバイスの再生音を聴くには、「Bluetooth 接続を行う」をご覧ください。)

### ご注意

電源との接続は、すべての音源機器との接続が終わった後に行ってください。

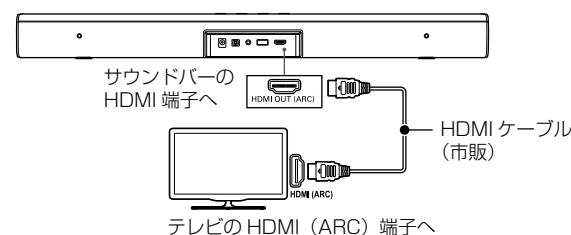
### ▶ テレビを接続する

#### HDMI ケーブルを使った接続：

テレビとサウンドバーは、市販の HDMI ケーブルを使用して接続することをお勧めします。

テレビの HDMI (ARC) 端子とサウンドバーの HDMI 端子を接続します。

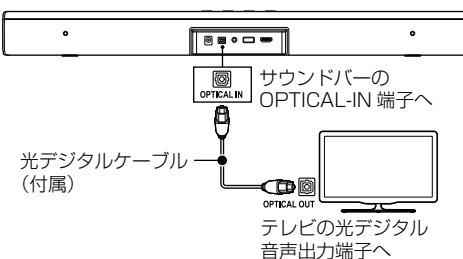
※ 必ず、テレビの HDMI (ARC) 端子をお使いください。ARC 対応ではない HDMI 端子と接続しても、テレビの音声をサウンドバーで聴くことはできません。その場合は光デジタルケーブル、もしくはアナログケーブル（付属の 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブル）でテレビと接続してください。



#### 光デジタルケーブルを使った接続：

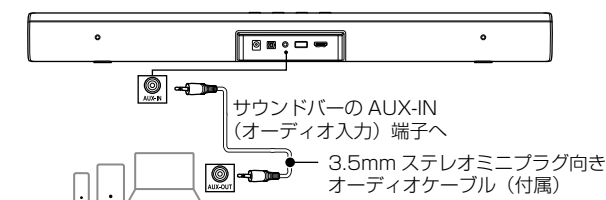
付属の光デジタルケーブルを使って、テレビの光デジタル音声出力端子とサウンドバーの OPTICAL-IN (光デジタル入力) 端子を接続します。

※ 接続の前に、光デジタルケーブルの端子の保護キャップを取り外してください。光デジタルケーブルを使用しないときは、必ず保護キャップを取り付けてください。



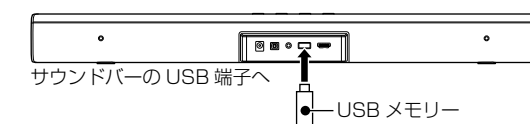
### ▶ ステレオミニジャック付きの機器と接続する

付属の 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを使って、オーディオ機器やスマートホンなどの音声出力端子とサウンドバーの AUX-IN (オーディオ入力) 端子を接続します。



### ▶ USB メモリーを接続する

音楽ファイルなど、再生したいデータを保存した USB メモリーをサウンドバーの USB 端子に接続します。



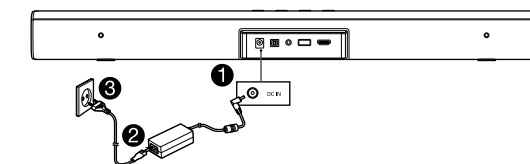
本機で再生音を聴くことのできる USB メモリーは、以下のとおりです。

- MP3 プレーヤー：フラッシュメモリー MP3 プレーヤー
  - USB フラッシュドライブ：USB2.0 に対応したデバイス
- 上記に相当しても、本機に対応していない場合があります。

### ▶ 電源と接続する

付属の AC アダプタと電源ケーブルを使って、壁面のコンセントに接続します。

- ① 付属の AC アダプタをサウンドバー本体の POWER (電源) 端子に接続する。
- ② 付属の電源ケーブルを AC アダプタに接続する。
- ③ 電源ケーブルを壁面のコンセントに接続する。  
本機は国内の電圧にのみ対応しています。海外ではお使いいただけません。



## 操作のしかた

### ▶ 電源を入れる / 切る

#### 電源を入れる

- ① リモコンの電源ボタン (⏻) またはサウンドバーの電源ボタン (⏻) を押す。  
LED インジケータ 1 が黄色く点灯し、数秒後電源がオンになります。その間、現在選択されている入力ソースに対応する LED インジケータが点灯、次いで現在の音量設定にしたがって LED インジケータが点灯した後、すべてのインジケータが消灯します。

#### 電源を切る

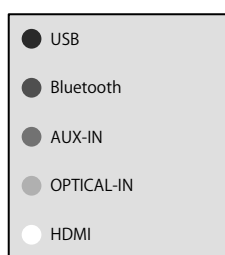
- ① リモコンの電源ボタン (⏻) またはサウンドバーの電源ボタン (⏻) を押す。  
電源がオフになり、LED インジケータ 1 が黄色く点灯します。数秒後、インジケータが消灯します。

### ▶ 入力ソースを切り替える

- ① 聴きたい音源に対応するリモコンのボタンを押す。  
以下のボタンを押します。

音源	ボタン
HDMI 端子に接続したテレビ	HDMI (⇨)
OPTICAL-IN 端子に接続したテレビ	OPTICAL (□)
AUX-IN 端子に接続した機器	AUX (Ⓜ)
Bluetooth 対応デバイス*	BT (📶)
USB 端子に接続した機器	USB (📀)

選んだ音源により、以下の LED インジケータが点灯します。



希望する音源に対応する LED インジケータが点灯するまでサウンドバーの入力切り替えボタン (⌂) を繰り返し押し続けて音源を選ぶことができます。

\* Bluetooth 対応デバイスの音声を聴くには、最初にペアリングの操作が必要です。「Bluetooth 接続を行う」をご覧ください。

### ▶ 音量を調節する

#### 音量を上げる / 下げる

- ① リモコンの VOLUME (音量) + / - ボタンまたはサウンドバーの音量 + / - ボタンを押す。  
音量を上げるにしたがって、LED インジケータ 1、LED インジケータ 1 と 2、と点灯していき、音量が最大になると LED インジケータ 1 ~ 5 が点灯します。

#### 音量をミュートする

- ① リモコンのミュートボタン (🔇) を押す。  
ミュートを解除するには、もう一度ミュートボタンを押します。

### ▶ 音質を調節する

#### 低音を強調する

- ① リモコンの BASS (低音) + / - ボタンを押す。  
低音を強調するにしたがって、LED インジケータ 1、LED インジケータ 1 と 2、と点灯していき、低音の強調が最大になると LED インジケータ 1 ~ 5 が点灯します。

#### サラウンド効果をオン / オフする

- ① リモコンの SURROUND (サラウンド) ボタン (🔊) を押す。  
押すごとにサラウンド効果のオン / オフが切り替わり、LED インジケータ 5 が 2 回点滅します。

#### 夜間モードのオン / オフを切り替える

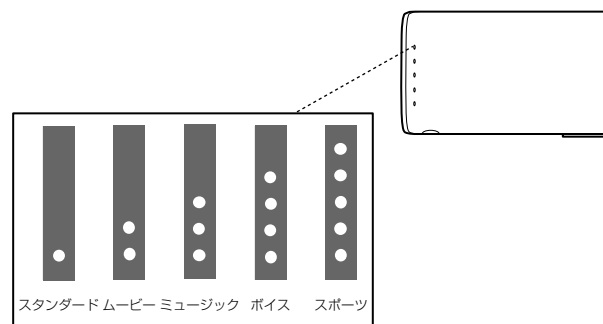
夜間モードをオンにすると、夜間、音量を下げたときに音楽が聴きやすいよう、低音域と高音域を強調します。

- ① リモコンの NIGHT MODE (夜間モード) ボタン (🌙) を押す。  
押すごとに夜間モードのオン / オフが切り替わり、LED インジケータ 5 が 2 回点滅します。

#### サウンドモードを切り替える

聴く音声の種類に適切なイコライザー設定に切り替えることができます。

- ① リモコンの SOUND MODE (サウンドモード) ボタン (🎵) を繰り返し押し。  
選んだイコライザーにより、以下の LED インジケータが 2 回点滅します。



#### 動作音を確認する

以下の動作のときに聞こえる、確認のための電子音をオン / オフすることができます。

- Bluetooth のペアリング設定状態に入ったとき
- Bluetooth のペアリングが完了したとき
- 音量が最大になったとき
- サラウンド効果のオン / オフを切り替えたとき

- ① リモコンの AUDIO FEEDBACK (オーディオフィードバック) ボタン (🔊) を押す。  
押すごとに電子音のオン / オフが切り替わります。切り替わりの結果を、LED インジケータが示します。  
確認音がオン：LED インジケータ 5 が 2 回点滅し、その後 5 秒間点灯  
確認音がオフ：LED インジケータ 5 が 2 回点滅

#### 音声に関する設定をリセットする

リモコンの SOUND MODE ボタン (🎵) を 5 秒以上長押しすると、サウンドバーの音量や音質に関する設定はすべてお買い上げいただいたときの状態にリセットされます。

## Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 対応デバイスの音声をサウンドバーでワイヤレス再生するには、はじめにサウンドバーと Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

### ▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① サウンドバーの電源を入れる。
- ② リモコンの BT (Bluetooth) ボタン (📶) を押す。  
電子音が鳴り、LED インジケータ 4 が青く点滅してペアリング設定状態になります。この状態になるまでサウンドバーの入力切り替えボタン (⌂) を押してもかまいません。
- ③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。  
ペアリングが完了すると電子音が鳴り、LED インジケータ 4 が青く点灯します。

#### iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。  
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。  
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイス一覧から、「JBL Bar Studio」を選択する。  
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



#### その他のデバイスの場合：

- ① ペアリング設定状態にする。  
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。  
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)  
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。サウンドバーの LED インジケータ 4 が青く点灯すると、ペアリングは完了です。

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

#### ご注意

Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。

### ▶ Bluetooth 接続を解除するには

デバイス側で Bluetooth を「オフ」にし、接続を解除します。あるいは、デバイス側で「JBL Bar Studio」の接続登録を解除してください。

## USB メモリーなどの音源を聴く

サウンドバーの USB 端子に接続した USB メモリーなどの音源の再生音声を聴くには、以下のように操作します。

#### ご注意

使用する USB メモリーなどのデバイスが、「接続する」の「USB メモリーを接続する」に記載されている条件を満たしていることをご確認ください。  
また、以下の制限事項がありますので、あらかじめご承知おきください。  
• 再生される曲の順番は、USB メモリー内の各曲に割り振られた物理的アドレスにしたがいます。  
• 曲のファイル名は英数字のものに限られます。それ以外の文字（漢字やかななど）、記号が含まれていると、再生されない場合があります。  
• 曲の再生中に USB メモリーを抜き取らないでください。誤動作の原因になります。  
• 著作権保護のかかった音楽ファイル（ウェブからダウンロードした MP3 ファイルや WMA ファイルなど）は、再生することができません。  
• PC に何らかのアプリをインストールしないと再生することができない USB メモリーは、本機で再生することはできません。  
• 大容量の USB メモリーは、USB 端子に接続してもサウンドバーが認識するまで数分かかることがあります。なお、保存されたファイル数が 2000 を超えている場合、再生することはできません。  
• USB 端子に PC を接続して、サウンドバーを PC の外部ストレージデバイスとして利用することはできません。  
• 本機がサポートしているファイルシステムは FAT16 および FAT32 です。exFAT、NTFS はサポートしていません。  
• USB メモリー以外の USB デバイス中、HDD やカードリーダー、ロックがかかったデバイス、USB ハブを介したデバイス、USB 延長ケーブルを介したデバイス、iPhone/iPod/iPad、アンドロイド端末は本機で認識されない場合があります。

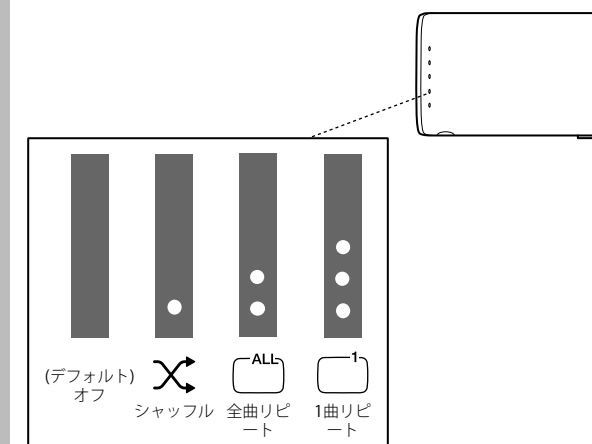
### ▶ 再生を開始する

- ① USB メモリーにロックがかかっている場合は、ロックを解除する。
- ② USB メモリーをサウンドバーの USB 端子に接続する。
- ③ リモコンの USB ボタン (📀) を押す。  
または、サウンドバーの入力切り替えボタン (⌂) を押し USB を選択します。  
接続した USB メモリーが認識されると、自動的に再生が始まります。

### ▶ シャッフル演奏 / リピート演奏する

- ① リモコンの SHUFFLE ボタン (🔀) を押す。  
押すごとに通常演奏→シャッフル演奏→全曲リピート演奏→1 曲リピート演奏と切り替わります。

LED インジケータが、現在の演奏モードを示します。



## テレビのリモコンを使う(HDMI 接続時)

テレビとサウンドバーを HDMI ケーブルで接続している場合、ほとんどのテレビのリモコンで以下の操作ができます。

- サウンドバーの電源のオン / オフ
- サウンドバーの音量調節
- サウンドバーの音量ミュート

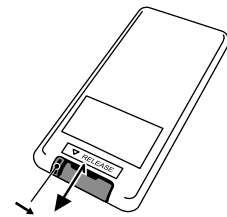
## テレビのリモコンで本機の制御を行わない場合

テレビのリモコンによるサウンドバーの制御が不要な場合は、リモコンの SHUFFLE (シャッフル) ボタン (X) を 3 秒以上押し続けます。

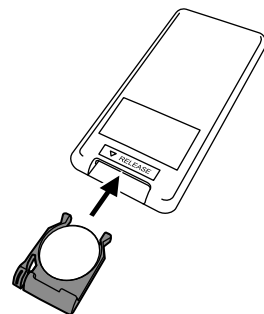
## 本機のリモコンの電池を交換する

本機のリモコンには、あらかじめ電池が挿入されています。リモコンの電池が切れたら、以下のようにして新しい電池と交換してください。

- ① リモコン裏面の、電池ケース取り出しつまみを右に押しながら電池ケースを取り出す。



- ② 新しい電池 (CR2025) を電池ケースに入れ、電池ケースを元に戻す。



## トラブルシューティング

症状	解決法
サウンドバーの電源が入らない。	サウンドバー本体が壁のコンセントに接続されているかご確認ください。
テレビの音が聴こえない。	サウンドバーの音量が小さ過ぎているかご確認ください。 テレビとサウンドバーが光デジタルケーブルで正しく接続されているかご確認ください。 テレビとサウンドバーを HDMI ケーブルで接続している場合、テレビの HDMI (ARC) 端子を使用しているかご確認ください。 入力ソースとして光デジタル入力 (テレビと光デジタルケーブルで接続している場合) または HDMI (テレビと HDMI ケーブルで接続している場合) が選ばれているかご確認ください。
テレビ以外の音源の音が聴こえない。	サウンドバーの音量が小さ過ぎているかご確認ください。 入力ソースとして、聴きたい音源が選ばれているかご確認ください。 音源側で音量調節ができる場合、音量が小さ過ぎているかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がり過ぎている場合は音量を下げてください。
Bluetooth デバイスとペアリングできない。	お手持ちの Bluetooth デバイスが本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と Bluetooth 接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth デバイスをすべてオフにし、本機の電源を入れなおしてください。

## 主な仕様

電源	DC19V、2.0A
出力 (合計)	30W
使用ユニット	ウーファー : 2 インチ × 2 ツイーター : 1.5 インチ × 2
音圧レベル	最大 90dB
周波数特性	60Hz - 20kHz
HDMI (ARC) 出力	1 系統
HDMI	HDCP バージョン : 1.4
Bluetooth	バージョン : Bluetooth4.2
Bluetooth 伝送範囲	Class2、通信距離約 10m (障害がない場合)
サウンドバー サイズ	幅 614mm × 高さ 58mm × 奥行き 86mm
サウンドバー 質量	1.4kg

## ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

## ▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

## ▶ 製品に関するお問い合わせ

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2017 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

101720000